

恵まれた環境や限りある資源を活かし、育み、永く使うことができる庁舎

整備方針

- ・建物の長寿命化と施設の維持管理費の抑制を図ることで、ライフサイクルコストの低減を目指します。

(1) 長寿命化に向けた取組

- ・「熊本市公共施設等総合管理計画」「熊本市公共建築物長寿命化指針」にもとづき、施設の長寿命化を図ります。
- ・適切な時期に適切な保全を行う「計画保全」の実施を想定し、仕様を踏まえた長寿命化計画を策定します。
- ・将来、維持管理にBIM (Building Information Modelling：材料や仕上げ、性能などの属性情報も付属した建物の3次元モデルに) を活用した場合に対応できるよう仕様や点検・修繕履歴等のデータ一元化を行います。

(2) メンテナンス性・更新の容易性の確保

- ・日常点検や修繕が容易に行えるように動線や作業スペースの適切な確保を行います。
- ・空調・電気・給排水などの設備機器等の更新を想定した配置とします。
- ・改修時に部分的に停止・更新できるように設備の分割管理を行い、改修時の影響範囲の最小化を図ります。

(3) 維持管理費用の抑制

- ・保守性に優れた仕様を採用し、維持管理に要するコストの軽減を図ります。
- ・材料や設備機器を選定する際は、耐久性・メンテナンス性などを考慮し、ライフサイクル全体におけるコストの最小化を目指します。